

アンボプロテクター ヘルメットへの取付け、取外し方法説明書

手順① 「アンボプロテクター」をヘルメットに取付ける

■ヘルメット側面のタテ穴に対して、ヘルメット上面からアンボプロテクターの差し込み部を押音するまで押し込む。



- ①ヘルメットの前後を間違えずに取付けてください。
- ②カチッと言う押音ができるまでしっかりと押し込んでください。
・もう片方も同様に差し込みます。



手順② 「アンボプロテクター」をヘルメットから取外す

■アンボプロテクターの差し込み部を押し込んだ方向とは逆の方向からマイナスドライバーを差し込み、スキ間を設けて引き抜きます。



- ①ヘルメットの下側から取付け部を見た状態で、ヘルメット側面のタテ穴部の外壁とアンボプロテクター差し込み部の間にマイナスドライバーを差し込む。



- ②差し込んだマイナスドライバーをヘルメット内側に倒して、アンボプロテクター差し込み部に設けられた突起を帽体側面から外します。



- ③そのままの状態マイナスドライバーを押し込みながら、アンボプロテクター差し込み部がヘルメット側面のタテ穴から外します。



- ④アンボプロテクター差し込み部がタテ穴部から3分の1程抜け出せば、あとは手で引き抜く事ができます。



マイナスドライバーをご使用の際は、先端でケガをしない様に充分注意してください。

アンボプロテクターの取扱説明書

- この度は当社製アンボプロテクターをお買い上げ頂き、お礼申し上げます。
- アンボプロテクターを使用する前にこの取扱説明書を最後まで読んで頂き、充分ご理解の上使用してください。
- 【この取扱説明書は読んだあと大切に保管してください。】

- 疑問や不明な点がございましたら下記の当社消費者相談室までご連絡ください。
- この説明書を紛失した場合も同室までご請求ください。

【発売元】 明日の安全をひらく

TOYO SAFETY

URL: <https://www.toyo-safety.co.jp>

【製造元】 日本ヘルメット工業会 会員

東洋物産工業株式会社

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴21-1

☎ 消費者相談室：0794-83-0155

〈はじめに〉

- このアンボプロテクターは、法律で定める危険な作業場所や危険が予測される場所で頭部を保護する為に使用する保護帽と、顔面保護用のシールド、騒音性難聴防止用イヤーマフを作業内容に応じて組み合わせた商品です。
- 保護帽の「取扱説明書」は、別添していますので必ず読んでください。
- 絶縁保護具の着用が義務付けされている作業には使用しないでください。

〈シールド付き〉

このシールドは飛来粉じん・浮遊粉じん・熱等から顔面を保護する為に使用するものですが、絶対に安全を保護するものではありません。使用にあたっては最大限の注意を払い、常に安全な作業に努めてください。

⚠ 危険

- 有害光線の発生する場所では絶対に使用しないでください。
- 溶接作業には絶対使用しないでください。
- 高温になるような場所ではレンズ等が軟化することがありますので注意してください。
- 表示以外の用途（スポーツ等の顔面保護）には絶対使用しないでください。
- レンズ面（メッシュ）の線材抜け・線材切れ等がある場合は新しいレンズ（メッシュ）と交換してください。（メッシュシールド）
- レンズ面等にヒビ割れ・かけ・変形等のある場合は新しいレンズと交換してください。
- 改造・修繕・加工等は絶対にしないでください。
- シールド内に粉じん等が流入するおそれのある場合は、保護めがね及び防じんマスクを併用してください。

〈イヤーマフ付き〉

⚠ 危険

- 遮音により事故を起こすおそれのある作業・行動（自動車の運転等）には使用しないでください。
- すべての騒音を完全に遮音するものではありません。（下表を参照してください）
- 耳に異常を感じた場合は使用を中止してください。
- ヒビ割れ・かけ・変形等がある場合は新しいものと交換してください。
- アレルギー等によりかぶれ・かゆみ等を生じた場合は使用を中止してください。

イヤーマフ遮音性能（JIS T 8161-1:2020による遮音性能より）

周波数 (Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
平均遮音値(dB)	18.4	17.3	18.4	25.6	26.3	28.5	29.8
標準偏差(dB)	4.1	3.8	4.0	3.4	4.4	4.2	6.1

SNR=22dB

高域周波遮音値H=23dB, 中域周波遮音値M=20dB, 低域周波遮音値L=17dB

〈シールド・イヤーマフ付き〉

⚠ 危険

- 使用前には必ず各部に異常がないか確認の上使用してください。
- レンズ・イヤーマフの交換は当社指定のものを使用してください。

注意

- 湿気のある場所には保管しないでください。
- ストーブの前のような高温になる場所に置いたり、保管しないでください。
- シールド等の上に重いものを置かないでください。
- レンズ面等にキズなどがつかない場所に保管してください。

手入

- 汚れは、ぬるま湯か薄めた中性洗剤で洗い、きれいな柔らかい布で拭いて自然乾燥してください。
- レンズの汚れは、汚れた布や手袋等では拭かないでください。（キズがつき易い）
- 熱湯・シンナー・溶剤等では絶対に拭かないでください。
- 使用後は必ず手入れをしてから保管してください。